

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 21 番 氏名 川神 裕司

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 石見神楽振興戦略について

(1) 石見神楽の文化度の高さや重要性に対する認識について

- ① 石見神楽の重要性についてあらためて市長の認識を問う。
- ② 9月定例会議において石見神楽の浜田市文化財指定が困難との答弁があり、その替り新設された国の無形文化財登録制度に登録できるか検討するとのことであったが、現在の対応を問う。

(2) 石見神楽伝承拠点施設の設置について

- ① 以前石見神楽連絡協議会に御便殿の常設神楽館化が市長から提案されたが、不調に終わった。逆に神楽協議会から収容人員200～300人の施設を要望。市長の石見神楽伝承拠点施設の設置に対する考え方を問う。

(3) 石見神楽を支える神楽産業の振興について

- ① 石見神楽発展の陰には、浜田市発祥の石州半紙、蛇胴、神楽面、衣装等独自のモノづくりがある。この技術こそ浜田の宝として後世へ責任を持って繋げていかなくてはならないと考えるが後継者支援も含め市長の所見を問う。

(4) コロナ禍による神楽社中への運営支援について

- ① 現在市内の多くの神楽団体はコロナウイルス感染の不安により、奉納神楽も含め出演回数が激減している。既に社中運営に大きな影を落としている所も少なくなく神楽産業部門も含め支援策を講じる必要があると考えるが所見を聞く。

2 市民の命を守る施策の充実について

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策強化について

- ① ワクチンの3回目の追加接種の方針が国から示されたが、前倒して6カ月後接種に関しては自治体の判断に委ねられている。当市の接種に関する方向性と、具体的接種方法・周知の考え方を問う。

(2) がん撲滅推進施策の充実について

- ① 予防としての「がん検診」は極めて重要であるが無料施策にもかかわらず検診受診者が依然少ない。がん検診受診率最近の動向と分析に関して問う。
- ② 数年前医療センターにおいて放射線治療医が1名しか在籍しておらず、西部唯一の「地域がん診療連携拠点病院」指定取り消しが危惧された。現在の状況と当市として拠点病院機能存続のための支援策はあるか問う。
- ③ 「がん教育」に関して平成24年6月に制定された「がん対策推進基本計画」において文部科学省が学校におけるがん教育の在り方を取りまとめたが、現在がん教育の実態と成果について問う。
- ④ がん治療の場合、市外、県外への通院を余儀なくされる場合も多く、交通費、宿泊費が大きな負担。コロナ禍の中、収入激減の方から悲鳴が聞こえてくるが、がん患者を支える家族やがんサロンのような団体に対しての支援策はどうか。

(3) 医師・看護師養成確保対策について

- ① 現在地域医療の根幹をなす開業医の後継者も厳しい状況と聞いている。現在の開業医の後継者の状況及び医師・医療スタッフの確保対策について問う。

(4) ICTを活用した遠隔診療システムへの挑戦について

- ① 中山間地域の救急救命体制整備を確立するため、高度情報化計画の柱としての遠隔地診療システムの構築は極めて有効な戦略。間もなく整備が進むケーブルテレビの市内全域光ファイバー化を活用するか、5G活用による遠隔診療を導入するか検討を行う必要があると思うが所見を聞く。